

HOP, STEP, JUMP in 標津

「～夢いきいき 萌える海と大地～ みんなで創る 新世紀」

広報しづ
11
2002
No.429



「見て！私たちが作ったイクラだよ」

10月1日、東京の私立武蔵野中学校3年生38人が修学旅行で本町に滞在。町エコツーリズム交流推進協議会が誘致したもので、生徒たちはサケのそ見学やイクラ加工体験、サケのチャンチャン焼きを囲んでの標津中学校生との交流を行いました。

イクラ加工体験では、町ガイド協議会のメンバーが講師役で、サケをさばくことから始まり、生れて初めてのイクラ作りに挑戦。生徒たちは、色鮮やかなイクラを手に目を輝かせていました。

(関連記事2～5ページに掲載)

特集

標津町感動体験

～動き始めた「エコツーリズム」～

標津町 感動 体験



動き始めた「エコ・ツーリズム」

町エコ・ツーリズム交流推進協議会会長・千葉元町観光協会会長では、本町の豊かな自然や誇りある産業の生産活動の場、また、生活・文化・歴史などの地域資源を活用した滞在型の体験観光事業「標津町エコ・ツーリズム」に取り組んでいます。

この取り組みは、地域ハサップの実践現場を消費者に知ってもらおうと、漁業者など町内の水産業者による「マリン・ツーリズム」を出発点とし、その後、町内の産業経済団体などの自主的な活動と町の取り組みが一体となって行っているもので、全道的にも先駆的です。昨年から同協議会の働きかけにより、修学旅行生など本州から多くの人たちが本町に滞在。自然と基幹産業の漁業や酪農に触れることなどで「感動体験旅行」を満喫し、好評を得ています。町では交流人口の増加に大きな期待を寄せています。

そこで今月号では、動き始めた「エコ・ツーリズム」について取材しました。

町エコ・ツーリズム交流推進協議会 千葉元会長に聞く



〈用語解説〉

●「エコ・ツーリズム」… [eco-tourism]

一般的に環境観光をいう。地球環境の保護に関心が高まる中で、旅を通じて環境保護や自然保護の理解を深めようという考え方。環境の保護と地元の経済発展の両立を目指している。

※「イミダス」より

協議会設立の目的は、

毎年多くの観光客が道東を訪れていますが、本町に宿泊する観光客は少なく、通過地点になってしまうことがあります。本町に滞在してもらうために、豊かな自然環境を生かした基幹産業の漁

業と酪農の生産活動や文化・歴史などの地域の資源を活用し、まちを挙げての滞在型の体験観光の振興と地場産品の消費拡大などを図ることを目的に設立しました。

協議会の構成は、

町、漁協、農協、商工会、観光協会、旅館組合など町内の関係団体で構成しています。まちを挙げてみんなで取り組むことで、関係団体との連携を強化し、様々な体験プログラムを実践していくという狙いがあります。

まち全体が「元気」になっ
ていく…

「この取り組みが、まちづくりにどのようなつながると考えますか。」

経済効果により、まちの活性化につながることは言うまでもありませんが、私たち住民も都市の方々の交流が活発化することで、自分たちのふるさとに対する誇りが生れます。また地場産業の幅が広がり、地場産品の消費拡大やブランド化にもなり、魅力と誇りのあるまちづくりにつながるものと考えています。簡単に言うと、町外からの多くの人を受け入れることで、まち全体が「元気」になっと思っています。

「エコ・ツーリズム事業の内容は。」

修学旅行の生徒をメインに、内容として、日本で初めての地域ハサップを紹介するサケの水揚げや搾乳の見学、忠類川でのサケ釣り、イクラ作り、いも掘りなどの体験学習のほか、北方領土学習を実施しています。食事ではサケのチャンチャン焼きやイクラ丼、ホタテ料理など地元で自慢できる食の提供を行っています。また、地元の小、中学生との交流会も行っています。修学旅行のほかにもパークゴルフツアーでの受け入れなども行っています。

評を得ています。サケや牛を直に見るだけでも感激してくれているようで、特にサケ釣りやイクラ作りの体験では大きな歓声を上げ人気を呼んでいます。「ぜひ、また来たい」という声も多く聞きます。考えてみると、海、川、山とこんなに自然に恵まれているまちは他にも数少ないと、都会の子供たちの感激ぶりを見て改めて私自身標津町の良さを再認識しました。

人気は上々。「ぜひ、また来たい」という声も

「お客さんを実際に受け入れて見てどうですか。」

受け入れには、母体となるガイド役の皆さんの協力が力ギに

町エコ・ツーリズム交流推進協議会
平成14年度 ツアー
受け入れ実績

■修学旅行

- ▷岐阜県伊自良中学校60人 (5月、1泊2日)
- ▷京都聖母学院小学校161人 (9月、2泊3日)
- ▷東京武蔵野中学校38人 (10月、1泊2日)

■パークゴルフツアー

- ▷札幌から16人 (7月、1泊2日)

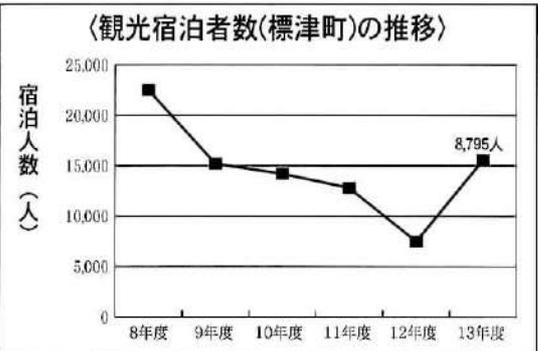
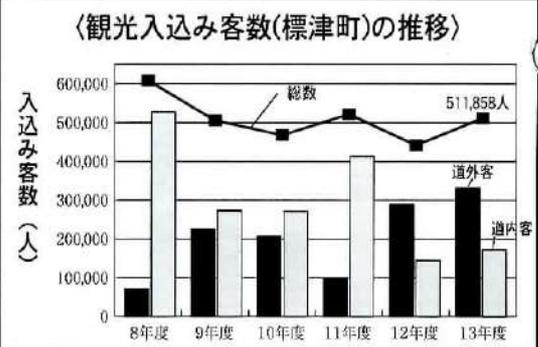
■秋サケ網起こしツアー

- ▷道内外60人 (8月～10月、1泊2日)

■忠類川サーモンフィッシングツアー

- ▷道内外1,616人 (8月～10月までの見込み)

※以上主なもの



※町の「観光入込み調査」より

受け入れ体制の整備が課題に

最後に今後の課題と抱負は。

なりません。現在登録しているガイドは三千五人いますが、最初は分からないことが多く、どうやっていったらいいのか不安だったようですが、それぞれの部門で皆さんに一生懸命対応してもらい、スムーズにスタートしたと思います。これも二年前からのガイド養成講座などの研修を積んできた成果だと思えます。都会の子供たちの感動している様子を見て、説明のしがいもあり、子供たちとのふれあいも生まれ、ガイドの皆さんからも「やってよかった」という声が聞かれます。また、同じ町内にいながら普段顔を合わすことがないことから、ガイド同士の交流もできているようです。

今後はより多くの人々を受け入れるためにも、旅行会社へのPR活動を積極的に行い、協議会の構成団体との連携をさらに深め、受け入れ体制の整備・充実を図っていかねばならないと考えています。受け入れが増えると宿泊施設の問題もありますし、ガイドの増員も必要になってきますから。またスタートしたばかりで、課題は他にもありますが、まちを挙げた取り組みが必要不可欠ですので、住民皆様のご支援をお願いしたいと思っています。

最大の目標は「喜んでもらうこと」

—実際に受け入れが始まりましたが、ガイドの皆さんの感想は。

最初は戸惑いもありましたが、一回やるごとに自信がついてきましたね。魚をさばいたり、いもを掘るのも初めての子供たちの感動した様子を見て、私も含めてですが、ガイドの皆さんも手応えを感じたようです。

は、「喜んで帰ってもらおう」とだと思えます。その点では今年、まずは良くできた方ではないかと思えます。しかしながら、ガイドとしてまだ勉強することがたくさんあります。お客さんは、お金を払って滞在しているのですから、ガイド一人ひとりの質を高めていくことが必要だと思えます。

町ガイド協議会 川畑喜美子会長に聞く



●ガイドの役割…滞在型の体験観光を推進するため、訪れる観光客に具体的な体験指導や案内などを実践。まちの魅力を広く紹介する重要な役割を果たす。

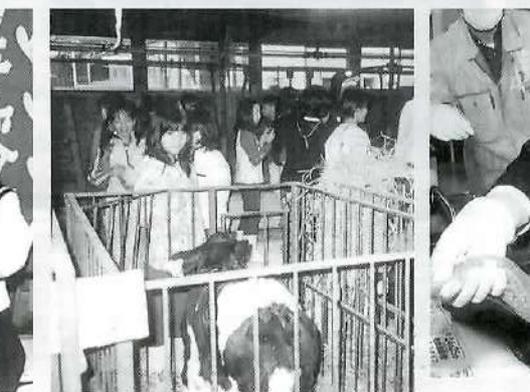
—苦勞している点は。

自分たちの仕事と両立しながらのガイドなので、受け入れ人数が多くなるとガイドの人員の配置に苦勞することがあります。今のところは何とか都合をつけてやりくりしてもらっていますが、今後はもっと多くのガイドの増員を図っていく必要があります。

—今後の改善点、抱負は。

—私たちがガイドの最大の目標は

例えば、小学生と中学生、高校生、大人とでは指導の仕方が違ってくる。その年齢層に応じた指導も行っていかなければなりません。聞く側の立場になるためにも、ガイドが互いに客になった場面を想定することも大切。先進地の視察も行うことも考えています。この冬の間に反省点を改善し、来年に向けてレベルアップしていきたいです。



「感動体験」PHOTO DIGEST

漁業者と酪農者の声…



本村 武雄さん
〔漁業者〕

受け入れに協力して
いきたい

地域ハサップに取り組んでいるサケの生産現場を見学した子供たちは、みんな感激していました。このことは、地場の水産物のPRと消費拡大にもつながるはず。私たち漁業者は受け入れに積極的に協力していかねければと思います。



大西 輝男さん
〔酪農者〕

現場見学は酪農者にとっても良い機会

都会の子供たちに生産者の顔とその現場を見てもらったことは酪農者にとっても良い機会になったと思います。酪農家によって様々な牛の飼育方法の違いもあるので、今後は多くの酪農者にもこの活動に参加してもらったことも必要。まちのお手伝いができれば。

紹介 お礼の手紙…

標津町の皆さん、とても親切にしてくださいましてありがとうございました。皆さんの御好意はともうれしかったです。

ホタテ釣りの用意をしてくださった方、釣れたりすると一緒に喜んでくださったりと長い移動時間で疲れていたけど、楽しさのあまり疲れがふっとびました。ホエールウォッチング（カレイ釣りに行く途中の出来事）の時、みなさんが船を走らせ、本当一生懸命に探してくださいました。みんなが見れたのはみなさんのおかげでした。チャンチャン焼きの作り方を教えてくださった方、焼くだけの状態にするのは大変だったと思います。そのおかげで間違えずに作ることができました。とっても味が良くておいしかったです。

標津町のみなさんで歓迎して下さって本当にうれしかったし、いい思い出になりました。またいつか標津に行きたいです。ありがとうございました。みなさんお元気で。

岐阜県伊自良中学校
3年B組 飯沼里奈

※手紙の内容は、一部割愛しています。

修学旅行で本町に滞在した生徒の声…



阿部 靖代さん
聖母学院小5年
〔京 都〕

「気をつかっている
サケの水揚げと搾乳」

サケの水揚げを見て、私たちの見えない所でいろいろな人たちがおいしく、安全な魚を食べられるように気を使っていることがわかりました。搾乳の場合も同じでした。

体験では特に忠類川でのサケ釣りが楽しかったです。川を上っていくサケを見て「すごいなあ」と思いました。自然がたくさんある北海道にもう少し来たかったです。



香川 明生くん
聖母学院小5年
〔京 都〕

「びっくりした
乳牛の大きさ」

乳牛がとても大きかったのびっくり。牛が勝手に搾乳されるのに驚きました。イクラ作りは、イクラの感触がよかったです。サケ釣りは四匹も釣れたので楽しかったです。忠類川は大阪や京都の川よりもだいぶきれいでした。

町はあんまり大きくなかったけど、自然がたくさん残っていたきれいでした。また絶対に北海道に行きたいです。



山崎絵美里さん
武蔵野中3年
〔東 京〕

「サケの水揚げを
見られず残念…」

京と違って自然に恵まれた元の人々がやさしかった。イクラ作りは、イクラがつぶれなかったのにびっくり。食べ物ではサケもホタテも新鮮で美味しく、食感が違い、料理が大胆でした。台風でサケの水揚げを見られなかったのが残念。

地元中学生との交流では、最初不安だったけど、仲良くできて北海道の友達ができました。



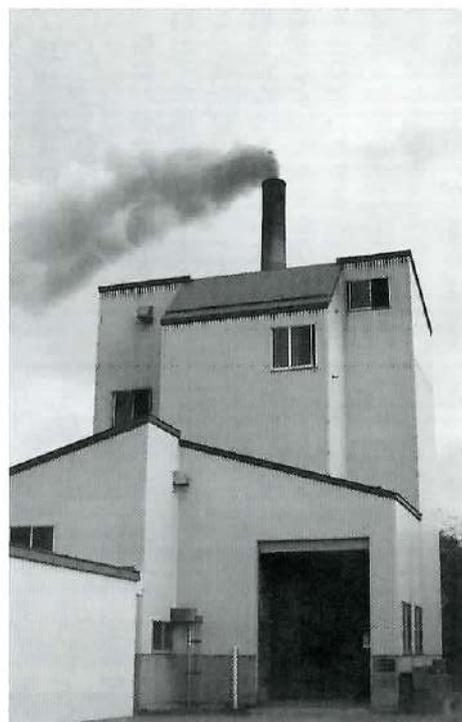
宮原千佑紀さん
武蔵野中3年
〔東 京〕

「楽しかった地元
中学生との交流会」

一番に残ったことは、地元中学生との交流会。今後できれば交流していきたい。北方領土学習ではガイドさんの説明が分かりやすく面白かったです。生の声を聞いてよかったです。食べ物ではチャンチャン焼きが美味しかったです。サケの大きさにびっくりしました。

天気よかったです。いろいろな所を見たかったです。国後島も友達もできたのでまたきたいです。

12月に焼却施設が閉鎖



法律改正により、今年十二月一日から使用できなくなる清掃センターの焼却施設

現在

収集された可燃ごみ（燃やせるごみ）は、清掃センターで焼却処理（昭和五十七年から）されています。

ごみを燃やすとダイオキシンという有害物質が発生しますが、このダイオキシンの抑制を目的とした法律改正が行われ、今年の十二月から適用されません。標津町ではプラスチック類を不燃物として分別し、また焼却温度の管理を徹底することで、ダイオキシンの排出量を国の基準の約四十分の一に抑えています。しかし、清掃センターについても構造上の問題から今年十二月一日以降は「法律の基準に適合しない施設」となり使

〈用語解説〉

■ダイオキシン

塩素を含む物質を元に、プラスチックの焼却や紙の塩素漂白などの過程で発生する。環境中で分解されにくく、体内では特に脂肪組織にたまり、癌奇性や発がん性、免疫毒性、環境ホルモンとしての作用がある。非常に毒性が強く、胃酸カリの約千倍の毒性があるといわれている。

ダイオキシンの発生を抑制するには、ごみを高温で完全燃焼させ、排ガス中の粉塵を取り除くなどの対策をしなければならぬ。

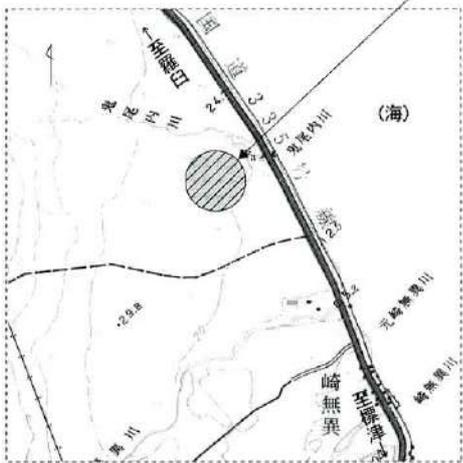
〈〈〈今後の〉〉〉

ごみ処理の行方…

近年、消費の増加や物品の使い捨てなどによりごみの量や種類が増え、全国にごみ処理対策が大きな課題となっています。

資源循環型社会の実現に向け、また、ダイオキシン等の有害物質排出抑制などを目的に法律（「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「ダイオキシン類対策特別措置法」）の改正が平成9年、同11年に行われ、本町においても今後、施設の閉鎖や建設を行います。

埋立処分場予定地



用できなくなります。
管内では、焼却施設を改造している根室市を除き、焼却施設が使用できなくなります。

「可燃ごみ」は 根室市で焼却

本町での焼却処理ができなくなることから、今年の十二月一日から広域焼却施設の完成までは、根室市へ可燃ごみを運び焼却処理する計画です。ごみの分別については、これまでどおり、金属、ガラス、プラスチック類が入らないよう、ごみの分別にご協力願います。詳しくは、今年三月にお配りして

いる「ごみの分別一覧表」をご覧ください。

将来は広域焼却 施設で処理

焼却施設が使用できなくなる管内四町では、共同で広域焼却施設建設を進めています。しかし、現在のところ建設場所が決定していません。

現在、別海町内で場所の選定を行っているところです。建設の遅れは、今後のごみ処理に大きな影響があるため、一刻も早い供用開始に向け、取り組みんでいます。

缶詰の缶やトレーは 必ず水洗いを…



新しい埋立処分場は平成16年8月供用開始予定です。それまでは、不燃ごみの埋立をこれまでどおりトド山埋立処分場で行います。

ただし、埋立処分場の適正な管理のため、缶詰の缶や食品トレーなどは必ず水洗いしたうえで排出をお願いします。また、粗大ごみについては、別海町埋立処分場で破碎処理後、埋立て処理を計画。排出方法は、今までどおりです。

なお、直接搬入のごみは、これまでどおりトド山埋立処分場へ投棄するものですが、可燃物がある場合は、清掃センターに設置された大型コンテナに投入することになります。詳しくはセンター職員の指示に従ってください。

埋立処分場を 計画中

現

在の埋立処分場は、昭和四十七年から使用していますが、法律の改正により、また残余容量が少ないことから、緊急な整備が必要です。

現在、本町と同じ状況にある羅臼町と二町共同で埋立処分場建設に向けて各種調査を行っています。新しい埋立処分場は、ごみから出る汚水が流れ出さないようにシートを張り、汚水をきれいに処理する施設を備えたもので、次のとおり計画しています。

- ▽場所：標津町崎無異地区
- ▽規模：約一万五千㎡（約十五年間使用）
- ▽使用町：標津町、羅臼町
- ▽埋立物：不燃ごみ、粗大ごみ、直接搬入のごみ、焼却灰

▽供用開始：平成十六年八月予定

資源物は 今までどおり

本

町では、缶、びん、ペットボトル、新聞・雑誌を資源物収集し、リサイクルを行っています。

現在リサイクルの更なる効率化を目指し中標津町に、三町（標津町、中標津町、羅臼町）共同のリサイクルセンターを、平成十六年度中に完成の予定で進めています。施設完成後は現在収集している物のほかに、プラスチックや紙の他、缶詰や海苔の缶、栄養ドリンクのびんなども資源物扱いとなります。詳しくは施設完成前に改めてお知らせしますが、当面は今のままで排出をしてください。

処分場所は変わっても…

皆さんのごみの

排出方法は 変わりません



ごみを処分する場所は変わりますが、現段階では、ごみの分別方法や収集方式は変わりません。これまでどおりの方法で排出してください。

なお今後、二町埋立処分場や三町リサイクルセンター、四町広域焼却施設が稼働する際には、分別方法が変わることが予想されます。ごみの適正な処理を行うために、これからもごみの分別にご協力をお願いします。

第14回釜山アジア大会〈自転車女子500Mタイムトライアル〉

大菅さん見事「銀メダル」



十月四日、韓国で行われた第十四回釜山アジア大会の自転車女子五百メートルタイムトライアルで、本町出身の大菅小百合さん(21歳)が見事銀メダルを獲得しました。

ソルトレークオリンピック・スピードスケート日本代表の大菅さんは、今シーズンから自転車競技にも挑戦。持ち前の脚力の強さと、上半身を集中的に鍛えてきた練習の成果から、大会ではスタートにも成功し、自己ベストとなる三六秒〇三の日本新記録を樹立。会心のレース運びとなりました。

大菅さんの母・はるみさんの話によると、レースの一時間ほど前にお父さん(一彦さん)に「緊張してはいないよ」と本人から電話があり、レース後、しばらくしてから再び本人から、「よかった。これで気持ち良くスケートができる。与えられたチャンスを生かして安心した」と電話が。本人は喜びよりは「ホッ」とした様子だったと、はるみさん。

アジアの自転車競技銀メダルで、今シーズンのスピードスケート本番に向け弾みをつけた大菅さん。今後のいつそこの活躍が期待されます。

「穫れたよ。大きな大根」



川北小学校一・二年生の児童二十六人が十月九日、古多郷の遠藤農場の畑で大根の収穫体験を行いました。

町教育委員会の「ふるさと給食」の一環で、地元で生産される食材を教材に学校給食や地場産業に興味を持ってもらうことが目的。

参加した児童は、丸々と成育した大根に尻もちを突いたり泥だらけになったりと悪戦苦闘。収穫した大根は一本を自宅へ持ち帰り、同じものを給食のみそ汁やおでんなどで味わいました。

初の道東地区大会
進出

道新カップ北海道小学生バレーボール根室管内大会が十月六日、中標津町体育館で開

かれ、川北スマイル(同バレーボール少年団十五人)が、町内初の三位に入る活躍をみせました。

管内から十六チームが出場。一・二回戦を突破した同チームは、準決勝で本大会優勝チームと互角の戦いをみせましたが惜しくも敗退。しかし、十一月に行われる道東地区大会の出場権を得ました。

原中監督は「毎日の練習量と多くの遠征試合を行ったことで、試合経験を生かした。また、合田主将は「出来る限りのことをやり、まず一勝をしたい」と話しています。



金婚式おめでとう



金婚式(結婚50年)を迎えられるご夫婦に10月7日、小田桐町長からお祝いの品が贈られました。

今年には昭和27年に結婚された方が対象で、町内では7組が対象。町長が1軒づつご自宅を回り、夫婦の記念写真や町内で使える商品券を手渡しました。

●金婚式を迎えられた方(敬称略)

- ▷住吉源之進・奈奈子(北5西2)
- ▷佐々木信一・ナヲ(南2東1)
- ▷畠山 忠雄・キク(南6東1)
- ▷長谷川長一・哲子(南8西1)
- ▷今井 三大・トシ子(西川北)
- ▷小野 敬治・ノブ子(忠類)
- ▷大石 正照・友枝(茶志骨)

大盛況のあきあじまつり



第三十八回しべつあきあじまつりが九月二十九日、サーモンパークで開かれ、多くの人出でにぎわいました。

午前十時から始まった秋鮭格安販売では、用意した約二千二百尾の鮭が二時間ほどで完売。恒例となったイクラ丼の無料提供は相変わらずの好評。また、サケのつかみどり競争では、元気な魚に悪戦苦闘しながらゴールを目指す姿に会場は大いに盛り上がりました。

中国から水産加工実技研修に

標準漁協産地加工センターでは、中国青島から研修生十人を受け入れて実技研修を行っています。

日本の水産加工技術と語学を習得しようと、鮭の加工や梱包作業などを実習。研修は三年間で、来年以降も受け入れる予定です。



「まちづくり研究開発会議」が発足



行政と住民との協働のまちづくりの一環として、町の現状を知ってもらい、将来に向けたまちづくりを考えていただく「まちづくり研究開発会議」(公募委員十五人、団体推薦委員十五人、計三十人)の初会合が十月四日、あすばるで開催されました。

検討され、これまで広く町民に周知され定着しているという理由から、そのまま「まちづくり研究開発会議」と決定。今後二年間にわたって、まちづくり全般について広く意見交換・検討が行われます。

設立会議となった今回の会議では、町長のあいさつの後、会議の運営の中心となる座長に菊池勝紀さん(北一西二)、副座長に大垣勇さん(北四西三)、小笠原正幸さん(西川北)、梅木雅則さん(薫別)が選出されました。

出席者からは「会議は町民が発言・提案できる場として必要で重要だ」、「身近な問題を気軽に発言することからスタートしては」、「テーマをしっかりと検討しては」などの意見が出ました。

続いて会議の名称について

近々第二回目の会議を予定しており、今後いつそうまちづくりの議論が深まることになりそうです。



中村 清一さん (川北桜ヶ丘町)

SEIICHI NAKAMURA

ス

「トライクー」。澄み切った青空のもと、広いグラウンドで歯

切れの良いコールが、ひととき大きく響きわたります。

そのコールの声は、町軟式野球連盟審判部長・中村さん55歳・(株)上田組勤務。軟式野球の審判を務めて今年でちょうど二十年目になる一級審判員。「会社の野球チームの現役を退いて、その後も野球に関わりを持ち続けていたいと、審判の資格を取得したんです。当時は審判の人数も少なかつたですからね」

毎年、少年から一般までの多くの野球大会が開かれていきます。中村さんら審判員がいるからこそ大会が運営されていま



「一球の判定で試合が動きます…」

ているのも審判員皆さんのお陰です」

「わずか一球の『ストライク』『ボール』の判定でその試合が動く。特に一点差の緊迫した試合では緊張します。試合で審判は目立たないのいいんです。審判の難しさを話します。」

昨年八月に開かれた高松宮脇杯全日本軟式野球大会(一部)本町の球場でも試合が行われ、初めて全国大会でチーフ審判を務めた中村さん。「二時間半、ずっと続いた緊張感。何せ全国大会のチーフは初めて。ボールを大切に扱い、審判へのクレームをつけないなど選手の姿勢が違ふんです。それだからこそ、きちつとしたジャッジをしなればとプレッシャーもありました。試合が終わった後、他の権威ある三人の審判から『高低の判定良かったよ』と言われ、『ホッ』としました。今まで審判をやって一番記憶に残る試合になりました」。その話す表情には充実感があふれ、今までの努力が報われたように映りました。熱戦を繰り広げるグラウンドに立つ中村さん。その正確でスピーディーなジャッジは、選手からも厚い信頼が寄せられています。中村さんのコールは来年もグラウンドいっぱい響きわたることでしょう。

これが
津の標
♡♡
好きなんです。

いろいろな料理やデザート作りに牛乳は欠かせないことができます。自家製の牛乳を使うといっそう美味しくなるんです。新鮮な標津の牛乳が大好きと話す酪農家の伊藤さん。

「牛乳」が好き

伊藤さんは毎朝、搾りたての牛乳を使ってよく作るのは、牛乳豆腐(写真右)やカスピ海ヨーグルト(同左)。「このほかにもカレーやシチューに。コーヒーマイルクとして、アイスクリームの原料に使ったりと、牛乳は一年を通して幅広く使っているんですよ」



伊藤 一枝さん
(茶志骨パイロット)

牛乳のお陰か伊藤さんの骨密度は、同年代と比較して大幅に高いことが検査結果で実証されているそうです。「健康のため、皆さんもぜひ牛乳を飲み、料理にも使ってほしいです。消費拡大にもつながります。牛乳豆腐やヨーグルトなどの作り方は簡単です。作り方を知りたい方は、ご連絡ください。お待ちしております」

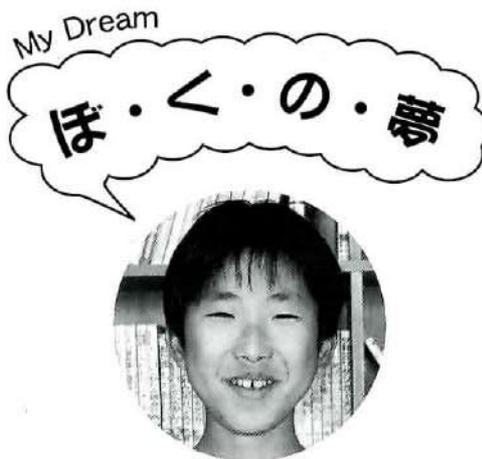
自家製の牛乳をふんだんに使った料理が食卓に上る伊藤さん宅。今日も伊藤さんの腕がなります。

ぼくの夢は、サッカー選手になることです。

なぜ、サッカー選手になりたいと思ったかというと、別海小学校で、ぼくが四年生か五年生くらいの時に、六年生の人とサッカーやった時に六年生の人の方が上手で、はがたたなかつたので、とてもくやしくて、毎日のように六年生の人とサッカーをしま

に上手だねと言われて、そしてぼくは、サッカー選手になりたいと思います。

そのあとサッカーをしてみて、みんなもだんだん上手になって、友達になりました。サッカー選手になったら、ワールドカップに出場して、とく点王とMVP賞に選ばれて、そしてワールドカップで優勝した



川北小6年 雄康 馬対 (川北小6年)

「サッカー選手」

した。友達も来ていっしょになつて、サッカーをして、その時はサッカー選手になりたいと思つていました。

そのあと六年生が卒業して、ぼくも転校して川北小学校にきた時に、みんながサッカーをしたら、みんなに上手だねといわれました。そして、どんどんみんなとやっているうちに、先生

いす。今は、へただけどがんばります。

●このコーナーは、子供たちの将来の夢を小学校ごとにリレ方式で紹介しています。

若さで
アタック
YOUNG MAN / WOMAN

来 校者や電話の対応には気が付けています。特に電話は顔が見えない分、悪い印象を与えることがありますので」と話す、今年四月から標準高等学校事務生として勤務する佐賀さん。

休日は、友人とドライブを



伊茶仁・23歳 穂美 佐賀 (伊茶仁・23歳)

「町民祭り水・キラリ」では、水守衆を務めて三年目。祭りが近づくと毎日のように事務所に通い、作業をすることも。事務局からの信頼もあつい。イベントなどに携わることが好きだといふ。

イベントにかかわることが好き
しながら温泉めぐり。人に接することが好きな性格で、「面識の

好 好奇心がおう盛で、何事も一度はやつてみたいと気が済まない性格で。年など考えていると何もできなくなつてしまいますよ」と話す戸村さん。

六十五歳の時に事故で大けがを負つたのがきっかけで、

四国八十八カ所を巡礼。これを機に、何でも興味を持つようになった人間やる気になれば何でもできる



え 静江 さん (住吉町・86歳)

「人間やる気になれば何でもできる。自ら訓練を与え、何でも興味を持つことが大事」とお若い笑顔で話してくれました。

みんなの 広場

このコーナーは、読者のページです。
あなたの声をお寄せください。

ゴミの分別方法や 収集日は変わるの？

Q 十二月から町の焼却施設が閉鎖すると聞きました。これまでの分別方法や収集日程も変わってしまうのですか。

A

十二月一日からは、可燃ゴミは根室市へ運搬し焼却処分します。分別方法や収集日は今までどおり変わりません。

また、可燃ゴミの分別については、これまでどおり金属、ガラス、プラスチック類が入らないようご協力をお願いします。可燃ゴミを焼却する焼却炉



(写真) は使用できなくなりませんが、不燃ゴミは従来どおりト下山最終処分場に埋め立てをします。缶、びん、ペットボトル、新聞などの資源物も分別・収集方法は変わりません。

また、個人が直接センターへ搬入されるゴミは、これまでどおり最終処分場へ埋め立てていますが、可燃ゴミについてはセンター敷地内にある可燃ゴミ用コンテナへ係員の指示に従って入れてください。

★お問い合わせは、住民課(担当 志道・吉田)まで。

「みんなの広場」は、読者のページです。町や広報誌へのご意見・要望などをお寄せください。

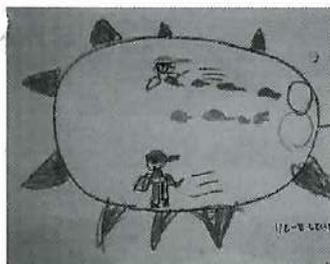
また、イラストも募集しています。はがきの裏に黒サインペンなどをお願いします。

▽あて先
〒086-11632
標津町北二条西一丁目一番三号
標津町役場・企画振興課
「みんなの広場」まで。

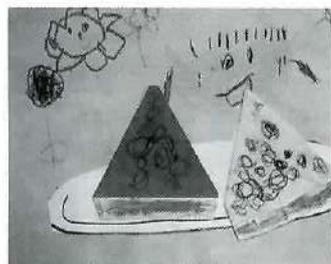
作品紹介

今月は、双葉保育園児の作品を紹介します。

(敬称略)



「うんどう会」
品川 祐里佳 (5歳児)



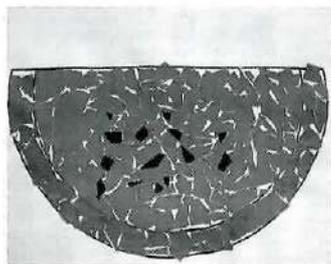
「スイカ」
佐藤 真凜 (4歳児)



「お花」
尾村 奈知 (4歳児)



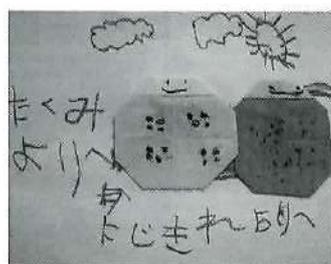
「えかきうた」
小林 菜摘 (6歳児)



「スイカ」
工藤 庸介 (6歳児)



「うさぎ」
川田 亜紀 (6歳児)



「てんとう虫」
藤澤 匠 (5歳児)

— 野付半島の龍神岬 —

波にのまれた宗平 (後編)

や

がて、結婚式もめでたく終りました。宗平の住んでいた村では、式のと新郎と新婦が舟に乗って二人だけで漁に出る習慣がありました。宗平たちもこの習慣に従って、海のおだやかな日に舟に乗って初漁に出かけました。

やがて舟がノツケ岬にさしかると、今までのよい天気は一変してすさまじい風が吹き、波は狂ったように荒れ、舟は沈みそうになりました。

その時、かつて宗平を助けてくれたあの美しいおとめがあらわれましたが、あつというまに恐ろしい龍に変わって、宗平夫婦にたち向かってきました。宗平たちの舟は海の底深くに引きずりこまれ、二人の姿を二度とみることはできませんでした。

この後、ノツケ岬を通る舟に若い女性が乗っていると、必ず大あらしになって恐ろしい龍があらわれ、舟と人を海底に引きずりこみました。それで無事に帰れた人はいませんでした。

人は、舟がよく沈められた海の海岸に祠を建てて、ねんごろに龍神をまつりました。それ

村

人は、舟がよく沈められた海の海岸に祠を建てて、ねんごろに龍神をまつりました。それ

来龍神に会った人はいないという事です。

その岬のことを人々は「龍神岬」と呼ぶようになりました。祠は、明治時代の末に尾岱沼に移されました。



解説

現在は白い燈台が建ち、航海する船の安全をはかっています。

この話は、根室・千島両国郷

土史(昭和八年)という本の中に古野生祐吉さんという人が書いたものをもとにしました。(故)戸田久吉さんによると、もつと古い時代に書かれた小冊子を見たことがあるとのこと、原本

だのではないかと思われます。龍神岬には古くから祠がありました。年代のはつきりしているのは、安政五年(一八五九年)に大阪で造られた祠です。祠の裏に「安政五年三月吉日、大阪新町宮井之辻、細工人宮屋吉右衛門、同半次郎、桎居惣之」と記されています。ですからこの年か、翌安政六年に龍神岬に建てられたものでしょう。それ以前のことはよくわかっていません。

祠を注文した人は、当時根室地方の漁場を請負っていた藤野喜兵衛という人か、その漁場で働いていた支配人とか責任者のような人ではないかと思えます。祠の中には、明治十八年に改築した時のことを記した木板や漁場の支配人や大工棟梁の名前を書いた木板などがありました。豊漁を祈り、航海の安全を願うための祠ですが、明治時代の末には守る人もなく、いたむので明治四十二年十一月に尾岱沼へ移されました。

江戸時代、明治時代は龍神岬や、根室半島の納沙布岬沖を船が通るのは大へんなことでした。多くの船が沈んだり、破船したことが龍神岬の伝説を生ん

昭和二十五年に「大綿津見神社」と改め、同三十六年に社を新築、「野付神社」となりました。

《今月のテーマ》

「健やかライフは食生活から」

新 村 淳 子 栄 養 士



健康
いち番!

Junko Shimura

きちんとした知識が必要!

井戸端会議で
「...とくに自然食品の店のものが良いんだって!」
朝、昼、晩、いいよね~!

1

「.....は頭よくなるんだから、どんどんたべなさい!」
じょうり

2

テレビで

「.....は摂りすぎるとかえって毒なの、気をつけなさい!」
どちなのよー! ママ!!

3

4

● **自分の健康は自分でつくる**
心も体も健やかな生活を送るためには健康作りの三要素「栄養・運動・休養」を上手に取り入れて過ごす事が大切ですね。

● **基本はやっぱりバランス食**
〇〇は体によいからと一品だけ多量に摂取するといった偏った食事は危険です。
低インシュリンダイエット、カスピ海ヨーグルト、酢玉葱など、健康になれる(?) 様々な食材がその時代時代で、もてはやされていますが、上手に利用しなければ、逆に肥満になったり、血糖値が上がるといった弊害も起ることがあります。
やはり基本はバランス食ですね。バランス食を摂取しても足りない部分は個々人の体に合った方法を試されてみてはいかがでしょうか?

健康のために実践しよう 食生活指針

★ 食事を楽しみましょう。
★ 主食・主菜・副菜を基本に、食事のバランスを。



万人に効く健康食品はなかなかないものですよ。

- ★ 野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚も組み合わせ。
- ★ 適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を。
- ★ 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく。
- ★ 塩分や脂肪分は控えめに。
- ★ ご飯などの穀類をしつかりと。
- ★ 1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを。
- ★ 食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も。
- ★ 自分の食生活を見直しましょう。

※嗜好品はたまにお楽しみ程度の量と回数で摂取することが健康への近道ですよ。

こんにちは 標津病院です



標津病院
大野高義 院長

胃

炎や胃、十二指腸潰瘍などで、胸焼けや

胃が痛んだりするような症状がある場合は、薬物療法とともに身体的、精神的なストレスをなるべく避けるようにしたり、食事療法などを通して、日常生活で胃腸に負担をかけないように心がけることが重要となります。

後に述べる、胃に優しい食事と生活についてのポイントを参考にして、胃腸の回復を促し、快適な生活を送ることができるよう、お役だて下さい。

① 不規則な食事や睡眠不足が続くと、体が本来持っているリズムが狂ってしまうため、自律神経のバランスがくずれ、潰瘍の原因になりますので、規則的な食事と休息を取るように心がけてください。

「胃、十二指腸潰瘍について」(2)

② タバコは胃の大敵です。喫煙することにより、胃の血流が悪くなったり、煙が溶けた唾液を飲み込むことで直接胃を荒らしてしまいます。

③ アルコールは控えるにしましょう。濃いアルコールは直接胃を傷つけ、アルコール性急性胃炎の原因になります。

④ 精神的ストレスは、胃の血流を悪くし、胃酸の分泌を増やしてしまうことで潰瘍の原因になりますので、自分なりのストレス解消法を身につけるようにしましょう。

⑤ 極端に熱いものや、冷たいもの、辛いもの、油濃いもの、コーヒーなどカフェインが多く含まれているものなどの、胃の粘膜を刺激するような食べ物のとりすぎには注意しましょう。

⑥ 硬いものや繊維の多い食べ物は、消化しにくく、胃に長く留まるため、胃に負担がかかりやすいので、控えめに食べるようにしましょう。

友好都市・青森県 大畑町では…

50年ぶりに伝統芸能復活！



通村石持地区から指導者を招き発足。住民の娯楽と青年活動の一環として、昭和十五年頃まで親しまれておりましたが、後継者不足などのため衰退していました。しかし、「先人達が培った郷土の伝統芸能を絶やしてはならない」と東通村の田村智

上野娯楽会(大向勝義会長)が、上野能舞を五十年ぶりに復活させ、このたび町民体育館で「翁舞」「鞍馬」「権現舞」など八演目を披露、会場に訪れた約五百人の観衆から盛大な拍手を浴びました。

和氏に師事、修練を重ね今回の復活上演会開催となりました。

◇ このコーナーでは、友好都市のお互いの話題を毎月の広報紙で紹介しています。

町長の動静

(9月21日～10月20日)

【9月22日】

川北地区敬老会

【9月25日】

まちづくり懇談会・川北地区町内会連合会

【9月26日】

道町村会常任理事会ほか(斜里町)

【10月3日】

都道府県・政令指定都市北方対策主管課長会議

友好都市大畑町議会議員来町対応

【10月4日】

まちづくり研究開発会議

【10月7日】

金婚式の祝い贈呈

【10月8日】

国保制度改善強化北海道大会

(札幌市)

【10月10日】

道公団造林協会造林面積二万五千ヘクタール達成記念式典(札幌市)

【10月11日】

苗木価格委員会(札幌市)

(以上主なもの)

コミュニティ助成事業

屋外用テーブル、イスを貸し出します

町では、(財)自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の助成を受け、屋外用のテーブル150台とイス300台を購入しました。

この事業は、同センターが宝くじ受託事業収入を財源として住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われています。

各地域などで行われる行事等に貸し出しますので、お気軽に役場商工観光課までお問い合わせください。

みなさんの町から村から

NHK は発信します!

NHK釧路放送局では、標津漁協屋上にお天気カメラを設置し、活気あるサケやホタテの水揚げ風景をお伝えします。この映像は、「おはよう北海道」、「情報くしろねむろ」、「ほくほくテレビ」で放送します。

放送受信料は、口座振替がお得で便利です。

●カラー契約で12カ月前払いの場合 1年間で1,830円お得

▷訪問集金 (2カ月払い×6回) 2,790円×6=16,740円
▷口座振替 (12カ月前払い) 14,910円 差額 1,830円

※口座振替のお申し込みは、NHKの担当者またはお取り引きの金融機関へ。

☎0120-151515 (午前9時～午後8時 (土・日・祝日も受付します))

NHK受信料は、テレビをお持ちのみなさまで公平に負担する料金です。

今月のおすすめ

新刊

BOOK ROOM



『黒頭巾旋風録』

佐々木譲著

松前藩が支配する蝦夷地。塗炭の苦しみを生きた民の味方黒頭巾が現われた。「蝦夷地別件」船戸与一著との併読がおすすめ。両書とも標津が登場します。

『おっさんの孤立無援的紀行』

吉村宣夫著

会社勤務、57歳のおっさんが一念発起、福井県小浜から京都まで80キロの鯖街道を3泊4日で歩こうと思立った。おっさんの無人島滞在記も付いています。



『日本にも夢はあるはず』

野口悠紀夫著

あの超整理法の著者が週間ダイヤモンドに連載したエッセイ2001年度分を集約した本。日本、世界の動きをわかりやすく、ちょっと辛口に書いた評論です。

その他の新刊 (☆は注目の本)

< 一般 >

- ☆『他人からよく思われたい長男、完璧を求めてしまう次男』クリフ・アイザックソン、クリス・ラディッシュ著
- ☆『人間は何を作ったか』木本 靖著
- ☆『地球環境データブック2002-03』クリストファー・プレイヴィン編著

- ・「命の遺伝子」高嶋哲夫著
- ・「世界がはじまる朝」黒田晶著
- ・「7 days in BAL I」田口ランディ著
- ・「夫婦親子男女の法律知識」自由国民社
- ・「知って得するパック旅行の裏表」金澤克彦著
- ・「新俳画への招待」島田一耕史著
- ・「小黑三郎の組み木遊び」小黑三郎著

< 児童 >

- ☆「ストームブレイカー」アンソニー・ホロヴィッツ著
- ☆「バケルノ小学校ヒュードロ組」柏葉幸子著
- ☆「モンスター・ホテルでおばけバラ」柏葉幸子著
- ・「あっぱれ! プブヒコ」中川ひろたか著
- ・「郵便犬ポチの一生〜吹雪に消えた郵便屋さん〜」綾野まさる著
- ・「そらとぶテーブル」佐々木マキ著
- ・「ぎゅうぎゅうかぞく」ねじめ正一著
- ・「どっち一ぬくん」あきやまただし著
- ・「ハム太郎のとつこえほんでちゅ2」河井リツ子著
- ・「うさぎちゃんつきへいく」せなけいこ著

●今月の特集: 趣味の本

今月は、趣味の本特集。囲碁・将棋・盆栽園芸・絵画・手芸・釣り・スキーからスノーボードなどの本を集めて展示します。

スポーツ

☆11月のスポーツ☆

- 3日(日)
第18回標準卓球スポーツ少年団長杯
オホーツク卓球トーナメント
[9時～総合体育館]
- 4日(月)
管内中学秋季バレーボール大会
[9時～総合体育館]
- 5日(火)・7日(木)・12日(火)・14日(木)
ファミリーバトミントン教室
[19時～総合・川北体育館]
- 9日(土)
スポーツ講習会
[10時～川北体育館]
- 10日(日)
管内高校秋季バレーボール大会
[9時～総合体育館]
- 13日(水)
第21回バレーボールリーグ戦大会
[19時～総合体育館]
- 16日(土)
管内4町小学生バレーボール大会
[9時～総合体育館]
- 17日(日)
第10回親睦ソフトバレーボール大会
[9時30分～総合体育館]
第21回町民バトミントン大会
[9時～川北体育館]
- 27日(水)・29日(金)
ファミリー卓球教室
[19時～総合体育館]
- 30日(土)
第2回町スポレクの集い
[9時30分～総合体育館]

汲み取り

し尿の汲み取りの
申込みは忘れずに

12月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申し込みください。

■汲み取り実施地域

標津市街・住吉町・東浜町・茶志骨・古多糠

■申込期限 11月25日(月)まで

★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

11月の健康相談・健診日程

乳 幼 児

- 乳幼児相談
19日(火)〈標津〉
[9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり]
※午前の部～13ヵ月児 午後
の部～4・7・10ヵ月児対象
20日(水)〈川北〉
[13時30分～14時30分／川北生涯学習センター]
※4・7・10・13ヵ月児対象
- 2歳児相談
19日(火)〈標津〉
[9時～10時／ひまわり]
20日(水)〈川北〉
[13時30分～14時30分／川北生涯学習センター]
- 歯ピカ教室
5日(月)
[9時30分～10時30分／ひまわり]

成 人

- 一般健康相談
29日(金)
[13時～14時／ひまわり]
- 糖尿病健康相談(予約制)
21日(木)
[10時～16時／ひまわり]
- リハビリ教室
13日(水)
[13時30分～15時30分／ひまわり]

妊 婦

- ママ・パパスクール
1日(金)
[10時～12時／ひまわり]

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)まで。

ごみの収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	可燃物	不燃物	資源ごみ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	7日(木) 20日(水)	13日(水) 27日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	5日(火) 18日(月)	11日(月) 25日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	6日(水) 19日(火)	12日(火) 26日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

防災

火災避難する際の注意点

初期消火ができなくなったら、無理をしないですぐに避難してください。避難のタイミングを逃すと、命にかかわることにもなりかねません。

- ・就寝する場所は避難しやすい場所で、2つ方向以上の避難口を決めておいてください。
- ・一度避難したら、絶対に家の中には戻らないようにしてください。
- ・服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く屋外に避難してください。
- ・高齢者や身体の不十分な方は、逃げるのが遅れがちです。避難の際には、優先的に避難させるようにしてください。

— 標津消防署 —

第42回標津町 弁論・研究発表大会

多数の皆さんのお越しをお待ちしています。

■日時 11月19日(火)

9時10分～14時10分

■場所 あすばる

■主催 町中学校連盟

■後援 町教育委員会・町文化祭実行委員会・健全な青少年を育てる標津町民の会

★お問い合わせは、町中学校連盟事務局（北標津中学校内 ☎5-2426）まで。

第32回標津町造形まつり

町内の保育園、幼稚園、小中学校、高校の児童生徒の作品のほか、教職員や北方四島からの交流作品も展示されます。

■日時 11月21日(木)～29日(金)

■場所 あすばる

■主催 町教育委員会

■主管 町教育研究所、町造形まつり実行委員会

★お問い合わせは、標津中学校住吉（☎2-2083）まで。

相談

配偶者暴力(DV)被害者 相談支援窓口の開設

根室支庁では、配偶者等から暴力を受けた女性被害者が相談できる窓口を設けています。

被害者を支援するための諸制度や保護施設の説明、警察などの関係機関と連絡をとりますのでご利用ください。

■開設時間

毎週月曜日～金曜日(祝祭日除く)

9時～17時 (12時15分～13時休み)

■直通電話 0153-24-5756

★お問い合わせは、支庁地域政策部環境生活課（☎0153-24-5580）まで。

特設人権相談所の 開設のお知らせ

■日時 11月12日(火)13時～16時

■会場 役場2階会議室

■相談内容

夫婦、親子、金銭貸借、不動産、相続、借地借家、いじめ、体罰、名誉信用など

■相談担当 人権擁護委員、法務局職員
— 釧路地方法務局根室支局 —

郵便局

地域に親しまれる 郵便局を目指します



標津郵便局では、「地域に親しまれる郵便局づくり」を目指し日々活動しています。

10月4日、地域ボランティア活動の一環として、サーモンパーク内のごみ拾いを実施しました。

戸籍の窓口から

(9月11日～10月10日届出分)

■ご結婚おめでとう

中村 将克さん・吉田久美子さん(鳩ヶ丘町)

山田 勝俊さん・奥山みゆきさん(本 町)

■お誕生おめでとう

(保護者)

音川 直也くん(弥栄町) 栄 治・真由美

佐藤 聡哉くん(結網バレット) 稔・安代

山田 梨子ちゃん(本 町) 勝 俊・みゆき

檜森 綾乃ちゃん(曙 町) 悟・律子

弓場 沙羅ちゃん(南川北) 誠・恵美子

花田 袖季ちゃん(忠 類) 仁 司・幸 江

上田 逸翔くん(結網バレット) 勇 逸・照 美

■おくやみ申し上げます

木村 キクさん(南川北) 89歳

山崎 友吉さん(新川上町) 86歳

鈴木まつ江さん(緑 町) 81歳

金田 榮輔さん(東茶志骨) 79歳

角 さよさん(曙 町) 80歳

村山 英雄さん(伊 茶 仁) 70歳

高橋 良一さん(共栄旭町) 59歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●町体育文化振興基金に——

- ・ふれあいスポーツデー実行委員会
- ・湯浅 清吉さん
- ・標津野球少年団育成会
- ・標津サッカー少年団育成会
- ・とどわら太鼓保存会

●町社会福祉協議会に——

- ・木村 正一さん・山崎 英司さん
- ・三船 哲夫さん・滝田 ヨネさん
- ・長谷 貞子さん・曙町内会
- ・伊茶仁秋桜会・聖友標津支所

●はまなす苑に——

- ・三船 哲夫さん・沢向 幸雄さん

●標津病院に——

- ・杉本 妙子さん・三船 チエさん
- ・合田 邦光さん・古多謙老人クラブ

●図書館に——

- ・坂脇 安雄さん
- ・佐藤 脩さん

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、
あなたが
主人公です

再度口座振替納付申出書の 手続きが必要です

Q 私は、まもなく厚生年金を喪失して国民年金を取得する予定です。

厚生年金に替わる前の国民年金保険料は口座振替をしていましたが、手続きをしなくても以前の口座から引き落としになりますか。

A あらためて手続きが必要です。

保険料の口座振替の申出は、国民年金を取得するたびにあらためて必要になります。国民年金を取得すると、社会保険庁から納付書が送付されます。その中に必ず口座振替納付申出書が同封されています。また、金融機関や郵便局でも手続きできますのでご利用ください。

■2号被保険者およびその被扶養者の方は届出を

会社や役所などを退職した方、その被扶養者は国民年金加入することになりますので届出が必要です。

届出に必要なものは、資格喪失証明書、離職証明書など退職の証明ができるものです。

■保険料の納め忘れはありませんか

次の日程で集合徴収が行われますのでご利用ください。必ず納付書を持参ください。

▷日 時 12月19日(木) 10時～16時

▷会 場 役場2階集落センター

■社会保険事務所相談開設日

▷日 時 11月19日(火)13時～17時

▷場 所 中標津経済センター

★お問い合わせは、福祉課年金担当 杉本まで。

説明会

「市町村合併を考える 説明会」を開いています



市町村合併について、広く町民の皆さんに考えていただくために「お出かけ説明会」を行っています。職場やサークルなどの集まりの際に、町から出向き、基礎資料や情報の提供をするものです。

気軽にお申し込みください。

■実施期間 12月20日までの平日(夜間も可)

■説明時間 質疑応答、意見交換などを
含め90分程度

■説明資料 町で用意します

■会 場 原則として主催団体でご利用
願います

★お申し込み、お問い合わせは、企画振興課(担当：滝本・山口・小出)まで

表彰

ボランティア等で活躍中 の方をお知らせください

町では毎年11月に表彰式を開催し、町政の発展に寄与された方、地域社会に貢献する活動をされ模範となっている方などをたたえることとしています。現在、表彰の候補者を選定しています。

皆さんの周りでボランティア活動などで隠れた功労で表彰にふさわしいと思われる方や団体がありましたら、ご連絡ください。

■期 限 11月7日(木)

■連絡先 総務課(担当：星)

サーモン科学館

秋の実習のお知らせ

■内 容

①サケの産卵実習～シロザケの人工授精作業と産卵行動観察を行います。

②産卵行動観察会～同科学館、忠類川でシロザケの産卵行動を観察します。

■日 時 (定員各20人、参加無料)

①サケの産卵実習

・11月4日(月) 10時～15時

・11月10日(日) 10時～15時

②産卵行動観察会

・11月3日(日) 10:00～15:00

■申込方法

住所、氏名、年齢、電話番号、希望日を記入し、はがき又はファックスでお申し込みください(直接科学館窓口でも受け付けます)

★お申し込みは、サーモン科学館(〒086-1631 標津町北1条西6丁目1-1 ☎2-1141・FAX2-1112)まで。

標津病院

標津病院では、11月8日(金)から29日(金)までの月・水・金曜日、午後1時30分から2時30分までインフルエンザ予防接種を実施します。対象は、満4歳以上の方です。

■対象者及び料金(消費税込)

・満4歳から小学生(2回接種) 4,500円

・中学生以上(1回接種) 3,500円

★お申し込み・お問い合わせは、標津病院(☎2-2111)まで。

下水道

9月10日「下水道の日」の水洗化促進PRクイズに多数の応募をいただきありがとうございました。厳正なる抽選の結果、次の方が当選されました。

(水洗用便器一式)

■奥 はるみさん(川北共栄旭町)

(ウオシュレット一式)

■木庭 玲子さん(川北共栄旭町)

「予期せぬこと」

人には「予期せぬこと」が往々にしてありがちです。それが「拉致」や「誘拐」等の様に人を不幸のどん底に落としてしまふものでない限り、大概は快く受け入れるべきでしょう。

の住宅から見るとは全く思ってもみなかったことです。スープが冷めないうちにいただけの美味しい自校給食やパークゴルフで地域の人々との交流も、今までにない経験です。

の乗降等々はこちらに来てからの楽しい部類に入る経験です。標津にずっと昔から住んでいる人にとつては当り前のことやも、初めて本町に来た人には新鮮に映ったり珍しいものは数え上げれば結構あると思われまふ。

私は標津町の広報紙の『まちの声』の原稿を依頼されましたが、全く予期しなかったことです。標津町の在任期間が短いし、人口六千人以上の町ですから他に適任者が沢山いらつしやうと思つていたからです。



井上 靖啓さん Yasuhiro Inoue
古多糠 (古多糠小中学校勤務)

引越しの荷物の移動や諸々のわずらわしささえ無ければ、このような楽しい『予期せぬこと』に遭遇するチャンスが多い引越した生活は私は大好きです。

川北中学校の池田さんから依頼され、今月号の執筆者が次の執筆者の指名をすることを知り、引き受けました。

『予期せぬこと』と言えば、古多糠の住人になったこともその一つかも知れません。

積雪量が多いことは以前住んだことのある人から聞いていましたが、晴れた日には北方領土の一つである国後島の山が自分

古多糠 (標津町) に住まなかつたら、見れなかつたものや経験しないであろうことは他にも多々あります。川北温泉までのドライブ、古多糠川までの犬の散歩、土曜日の魚の市、水キ拉里、望ヶ丘森林公園散策、忠類川の鮭、女満別空港での飛行機

いますが、まだまだ楽しい『予期せぬこと』があることを期待して、今後も生活して行こうと思つていきます。

▽次の「まちの声」は、古澤道郎さん (古多糠) です。

☆標津町民憲章☆

- ◇ (昭和46年11月3日制定)
- ◇ 健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- ◇ 自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- ◇ たがいに関わり合い暖かい社会をつくりましょう。
- ◇ 心を豊かにし文化を高めましょう。
- ◇ 子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽今月の特集は「エコツーリズム」。毎月、特集を組もうと編集していますが、うちの町は探さなくても何か必ず特集する記事があるんです。これは住民の皆さんが様々な活動を展開している証ではないかと考えています。▽これからは皆さんに、伝えなければならぬ情報は分かりやすく提供し、皆さんの側に立った広報紙づくりに励みたいと考えています。広報紙へのご意見などお寄せください。(H)

▽本町出身の大菅小百合さんが、またまたやってくれました。釜山アジア大会自転車競技で、日本新を樹立しての銀メダル。過去にも橋本聖子さんや武田豊樹さんなどが、自転車競技を行い好成績をおさめています。スピードスケートと自転車競技は何か共通するものがあるのでしょうか。大菅選手のこころの精神力の強さには、目を見張るものがあります。これからはスケートシーズンが本番。本業も、好成績を期待したいものです。(H)

人のうき

- ・人口 6,351人 (- 8)
- ・男 3,103人 (- 6)
- ・女 3,248人 (- 2)
- ・世帯数 2,374世帯 (- 4)

◇平成14年10月1日現在
()は前月比

町内の交通事故

- ・人身事故 2件 (14)
- ・負傷者 5人 (28)
- ・死亡者 0人 (1)
- ・物損事故 15件 (153)

◇平成14年9月1日～9月30日まで
()は累計

12月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを済ませた方のみ受講できます。

- 日時 12月3日(火) 13時30分～
- 場所 標津町生涯学習センター
- ★お問い合わせは、住民課まで。